

第6節 5日目：6月17日（日）：上北町～下田 曇り

曇り空の中、上北町＝下田間の 20.4km に挑戦する。朝 5 時前に起床し、ロビーで ipod を充電する。八戸東横インで昨日、本日、明日と宿泊するが、朝食は本日のみである。同一テーブルであった日立市から来たという川井さんと雑談をさせてもらう。この近郊を歩くとのことであった。朝、桂文珍の演芸図鑑で黄色い服装で立川真司さんのお笑いがあった。その他の番組も楽しそうであったが、電車の関係から見られず。八戸 7 時 38 分の電車で、上北町に向う。



東横イン八戸



八戸駅



八戸駅



上北駅



逆方向に進む



上北町駅には 8 時 6 分到着。 帰りの下田駅発の電車をメモ（15 時 42 分、16 時 4 分、17 時 30 分）して臨む。荷物は昨日に引き続き身軽な格好でのウォーキングであった。8 時 11 分、改札口にやってくる。女性の駅員が改札業務をしていた。駅前には、「あいさつは東北町の合言葉」とあった。16 時半まではこの駅には駅員がいるとのことであった。

白曇であった。鉄道を左にして野原を歩く。しかし、逆の方向に進む。8時44分、鉄道下を潜り、鉄道の右側に出る。8時51分、高瀬川のところで自分が反対方向に歩いていたことに気づく。2日前歩いて記憶に残っている八甲温泉、くすり屋あった。出発点の上北町駅近郊には9時11分到着。



八甲温泉



道の駅おがわら湖

リカバリーに1時間要する。この近郊で、昨日巨人が交流戦で優勝した際の前監督・手島氏の記念写真を朝ホームページで見かけたので、「お祝い」を携帯電話で述べさせてもらう。9時35分、道の駅おがわら湖に到着。トイレ休憩する。9時59分、頭上に飛行機の姿を捉える。10時2分、68歩ある砂土路川（さどろ：砂土路橋）を渡る。0.7km先に小川原湖畔湿原があった。歩道は草ぼうぼうであった。毛虫を多く見かける。10時28分、浜道踏切を横切る。本日最初の小川原駅（こがわら）には10時30分到着。



小川原湖畔湿原への案内板



小川原駅

再度、浜道踏切に戻り、鉄道を右手にして歩く。11時12分、三沢市に入る。11時15分、52歩ある姉沼橋を渡る。その先に十鉄（十和田観光電鉄）の柿沼バス停があった。三沢行きで時刻表は下記の通り。7時17分、9時7分、14時27分、16時27分、18時7分、19時25分であった。11時51分、西駒沢バス停前を通過。山間を歩く。この選択が誤りであった。ややこしい進路に入る。12時14分、中央自動車学校前を通過。12時19分、鉄道が分断された箇所を通過。12時20分、三沢市花園町を通過。三沢の商店街を通

り、12 時 50 分、浜街道踏切を横切る。



十鉄の跡



三沢駅



十和田観光鉄道駅舎



12 時 55 分、やっとのことで三沢駅に到着。十和田観光鉄道駅舎の味自慢で昼食としてかき揚げそば（360 円）を注文する。塩味でとても美味しかった。ここで 15 分位休息する。暫く駅前に留まり、最近廃線になったと思われる十鉄の鉄道を色んなアングルから撮影する。ここから十和田方面に進もうとしていた。念のため、近くの住人に聴く。やはり誤った方向に進もうとしていた。旧三沢街道踏切を横切り、鉄道の左側に出る。鉄道沿線に沿って歩く。13 時 21 分、30 歩ある古間木川（古間木川橋）を渡る。ここで、一句考える。「青い森 梅雨前の旅 夢多し」町並みを歩く。運良く、向山駅への案内板を見つけることができる。



向山駅



14 時 15 分、ローソン下田青葉店に入る。出る際、向山駅への道筋を覚えてもらう。真っ直ぐ路なりに歩いた先にあるとのことであった。14 時 40 分、小雨となる。道筋を聞いた際、住人の方から「傘やろうか」と言われる。「ありがとうございます。持っています」と回答する。14 時 51 分、鉄道沿いとなる。向山駅には 15 時 1 分到着。ここから、5.2 k m 先の下田駅を目指す。何とか 16 時 4 分の電車に間に合わせたい。



下田駅への路



下田までの道筋は 1 本道でわかりやすい進路であった。ジョギングを組み合わせれば、何とか実現できそうと判断する。5.2 k m の道のりのうち、6 割位はジョギングに依存する。15 時 33 分、下田こ線橋を渡る。15 時 46 分、351 歩ある奥入瀬川（赤い橋の下田橋）を渡る。鉄橋はブルーであった。赤と青のコントラストが強く印象に残った。15 時 57 分、下田駅に到着。八戸までの運賃は 320 円要する。16 時 4 分の電車で八戸に戻る。八戸駅には 16 時 15 分到着。



下田橋



下田駅

ホテルには 16 時 30 分到着。暫くホテルで休息し、19 時頃、19 日自宅に帰るための新幹線指定席特急券を購入に出かける。そして、駅前の八戸魚河岸食堂で「ほっけ定食」を注文する。小鉢に郷土料理があり、美味しかった。生ビールを飲みながら頂く。本日で、青森＝八戸を踏破できる。本日の営業キロ 20.4 k m、万歩計は 41,133 であった。



昨日と本日の夕食場所

第7節 6日目：6月18日（月）：一戸～好摩 晴れ

朝4時過ぎに起床。ロビーでipodを充電し、ホテルを5時55分チェックアウト。曇り空の一戸駅前をデジカメに収める。本日はリュックを背負ってのウォーキング。一昨日と同様、6時18分の快速（ワンマンカー）で一戸駅に向かう。北高岩駅で1分停車。昨日はこの駅には駅舎らしきものがないと思っていたが、朝見ると先日歩いた反対側の道筋にあった。諏訪ノ平駅で少し乗客が乗ってくる。この駅で下り電車と離合する。三戸駅で高校生等がたくさん乗ってくる。そして、二戸駅で多くの人が下車する。30代の労務者風の人と先日に引き続き、剣吉駅から金田一温泉駅まで同じ電車となる。



一戸駅をあとにする



一戸駅には7時1分到着。鉄道を右手にして歩く。7時11分、諏訪野バス停（JRバ

ス東北) 前を通過。7 時 27 分、「ゆっくり走ろう岩手県」の看板前を通過。7 時 38 分、女鹿口橋前で小学生に挨拶される。7 時 46 分、小姓堂橋 (89 歩) を渡り、国道 4 号線に出る。7 時 52 分、仙台 246km、盛岡 63km、岩手町 29km の道路標識前を通過。8 時 5 分、東京から 599km 地点に到達。8 時 7 分、鉄道下を潜り、鉄道右側に出る。8 時 15 分、橋を渡る。一戸町道を進む。



一戸駅



小鳥谷駅



8 時 33 分、小鳥谷 (こずや) 駅に到着。こつこつ駅の看板があった。丁度下り電車がやって来る。8 時 41 分、小鳥谷駐在所前で 30 歳代の松浦巡査から激励を受ける。「パトカーで先程お見かけした。歩く人は珍しいのでお声をお掛けした。鉄道沿線を歩くとは凄いですね。私も赴任してまだ浅い。次の駅まで暫くあります。山道お気をつけて」との内容であった。



小鳥谷駐在所前



小繋駅への路

9 時 3 分、盛岡 60km 時点通過。9 時 28 分、147 歩ある小繁川（新滝見橋）を渡る。9 時 34 分、東京まで 594km 地点に到達。現在の気温は 21℃であった。9 時 38 分、万歩計で 1,085 歩ある笹目子トンネルを歩く。9 時 53 分、79 歩ある笹目子橋を渡る。10 時 10 分、頭上ヘリコプター（東京より 592 k m 地点）あり。10 時 26 分、鉄道を下にする小繫（こつなぎ）こ線橋を通過。その先に 239 歩ある小繫トンネルがあり。並行して歩道トンネルがあった。このトンネルを出ると、590km であった。10 時 50 分、小繫駅に到着。



小繫トンネル



小繫駅

丁度、上り電車がやって来る。里やま市場があった。11 時 10 分、西田子こ線橋を渡り、鉄道の右側に進む。道路の上り車線に雪のスベリ止めと思われる赤い車線があった。

「梅雨何処 もくもく歩く 奥州路」

「藤の花 歩く醍醐味 奥州路」



中山峠



奥中山高原駅

11 時 40 分、現在の気温は 18℃であった。森より「ががああ」の声が聞こえてくる。一戸町西火行という地名であった。この辺りには民家は全く見当たらず。11 時 58 分、雑草に生命力の強さを改めて教えて頂く。民家のない山道が続く。12 時 22 分、東京より 584km 地点で民家があった。12 時 25 分、食事にしようと「雅（みやび）」に入るが、生憎満席のた

めパスする。12 時 33 分、国土交通省奥中山防災ステーション前を通過。12 時 36 分、中山こ線橋を渡り、鉄道の左側を歩く。12 時 40 分、標高 458m の十三本木峠（中山峠）を通過。この峠は国道 4 号線最高地点とあった。現在の気温が 19℃になったり、18℃になったりする箇所を通過。



子太皇徳聖



吉谷地バス停

13 時 6 分、奥中山高原駅に到着。駅前には奥中山小学校や「てるいストア」名の看板を目にする。13 時 16 分、「子太皇徳聖」を目にする。聖徳皇太子？13 時 25 分、一戸町から岩手町に入る。13 時 40 分、鉄道下を潜り、鉄道の右に出る。13 時 45 分、現在の気温は 21℃であった。13 時 48 分、前方に小型の富士山のような姫神山（好摩近郊）が見える。この土地は高台にあり道路は弧線形であり、前方に視界が開けていた。13 時 55 分、吉谷地バス停前を通過。14 時 5 分、鉄道下を潜る。14 時 16 分、花巻 81km、盛岡 42km の地点に達する。14 時 16 分、御堂観音前を通過（左に 1km 先）。15 時、陸橋小堀小学校前を通過。15 時 5 分、御堂駅（みどう）に到着。



御堂駅



小雨から晴れとなる。15 時 12 分、岩手町北緯 40° 線と記した看板前を通過。15 時 18 分、東京から 574km 地点に到達。左手に新幹線の線路を目にする。富野さんから「次回わいわい参加」の申込を頂く。15 時 32 分、山小屋風のヴィラで、遅い昼食を摂る。30 分強休憩

する。パスター風の焼うどん（1,000 円）を注文する。客は誰もいなかったが、暫くして、若い女性が入ってくる。大盛りのアイスデザートを注文していた。出る際、いわて沼宮内駅を尋ねる。あと 2km 位との回答を頂く。しかし、以外に遠かった。16 時 11 分、盛岡 38km の地点に達する。市街地の歩道を歩く。浪江町のような感じの町並みであった。



ヴィラ



いわて沼宮内駅

何人かの人に路を尋ねて、やっといわて沼宮内駅に 17 時に到着。新幹線の停車駅だけに、駅舎は整備させていた。17 時 17 分、東京から 568km 地点通過。17 時 26 分、嵐山バス停前を通過。17 時 31 分、567km 地点を通過。17 時 34 分、新奥の細道の看板を目にする。17 時 37 分、岩手町立久保小学校前を通過。17 時 50 分、108 歩ある丹藤橋（たんどう）を渡る。18 時 7 分、鉄道を横切る。左手に出る。18 時 8 分、岩手町立川口中学校前を通過。18 時 26 分、岩手川口駅に到着。



岩手川口駅



姫神山

先程峠から見た山が正面から見える。近くの住人に尋ねて「姫神山（ひめかみ）」と判明する。富士山のように円錐形で、私の記憶の中に残りそうな山であった。岩手川口駅でのアップも考えたが、まだ明るいし、明日の行程を少しでも楽にするため、5.6km 先の好摩駅に挑戦することにする。また、道筋も簡単と思ったからである。結果的にいい戦略であった。18 時 50 分、盛岡市に瞬間的に入る。姫神山を見ながら歩く。「姫神が じっと見つ

める 初夏かな」 19 時 11 分、4 号線を右折し、鉄道横をつたい歩きする。この道路の延長線に好摩駅があった。19 時 55 分、第二鹿角踏切を横切り、鉄道の右に出る。踏切から 300m 位先に好摩駅があった。



好摩駅への路



好摩駅



好摩駅には 20 時に到着。20 時 4 分の電車（JR 線デイズル車）で、盛岡駅に向かう。乗車券は 630 円要する。東横インは駅前店ではなく、開運橋店であった。親切にも通行人の方に、開運橋店前まで案内頂く。それにしても東北地方の方の親切さには改めて感服した。21 時にホテル（505 号室）に到着。本日は、八戸で 11 回目となり、無料で宿泊できる。駅前の陳家で坦々麺（680 円）を注文し、簡単に夕食を済ませる。ホテルには 21 時半頃戻る。Daily で夜食を購入。本日の営業キロは 43.2km、万歩計は 81,367 歩だった。



盛岡駅



東横イン盛岡

第8節 7日目：6月19日（火）：好摩～盛岡 曇り

曇り空の中、5時前に起床し、ロビーでipodを充電。7時、朝食を済ませ、7時28分、ホテルをチェックアウト。本日のコースは、好摩＝盛岡の21.3kmで、青森から盛岡までの203.9kmの踏破完成となる記念すべき日となる。盛岡から好摩までは、IGRいわて銀河鉄道に加え、JR花輪線が走っているの、盛岡駅で駅構内の不案内により10分程度ロスする。荷物をコインロッカーに預け、いわて沼宮内行き盛岡発7時53分の電車で好摩まで向う。



電車は4両編成で、満員状態であった。厨川（くりやかわ）で学生が大勢おり、がらがら状態となる。好摩には8時16分到着。途中、「巣子（すご）～滝沢～渋民」にかけて山間であり、歩くのに骨が折れそうであった。好摩駅前で写真撮影し、渋民駅に向けて出発する。しかし、鉄道の右側を歩いて進んだため、袋小路にぶつかり引き返しを余儀なくされる。20分ロスし、8時45分、陸橋に戻る。



ここからの姫神山は美景を醸し出していた。恐らく、彼女が私を呼んでくれたのであろう。感謝したい。本年 4 月歩いた浅間山が私をじっと見守ってくれたのを思い出ざるを得なかった。右手方向には岩手山が見える。山の姿の興味を持ち始めたのは、フコク生命時代の友人小林弘一さんの影響かもしれない。9 時 16 分、坂道を下り、124 歩ある川崎橋（松川）を渡る。運良く、「そろそろ渋民駅近し」と思い、分岐点で庭木の手入れをしていた主婦の方にお尋ねする。「この路を真っ直ぐ進み、踏切に沿って歩いた先にあります」との回答を得る。10 時 4 分、高台にある渋民駅に到着する。



渋民駅



駅前には、石川啄木の詩があった。

「なつかしき 故郷にかへる思ひあり 久し振りにて 汽車に乗りしに」

この駅は、「啄木」ゆかりの駅とは勉強になった。故郷の大切さを改めて教えてもらう。この駅から国道 4 号（10 時 17 分）に出るのに丘を螺旋状に降りる。10 時 23 分、東京まで 553km 地点に到達。10 時 28 分、大日本塗料前で 20℃であった。10 時 38 分、鉄道下を潜り、鉄道の右側になる。途中、松島バス停あり。



滝沢森林公園

10 時 44 分、仙台 198km、花巻 54km、盛岡 16km 地点に達する。10 時 51 分、滝沢村に入る。10 時 52 分、砂込川（松島橋：測量ミスで表示できず）を渡る。11 時 5 分、東北

育種場前（材木育種センター）を通過。11 時 12 分、盛岡大学前を通過。11 時 15 分、東京まで 550km（盛岡 15km）地点に到達。そろそろ左折すべき地点と思い、ガソリンスタンド（宇佐美）の店員の方にお尋ねする。運良く、このガソリンスタンド先が曲がる交差点であった。「左折した路をどんどん進み、初めての信号を左折した先に滝沢駅があります」との分かりやすい説明を受ける。その先を国道 4 号線から一般道に入る。山間を歩く。11 時 36 分、滝沢森林公園前を通過。11 時 44 分、盛岡地区衛生処理組合前を通過。



滝沢駅

11 時 53 分、先程教えてもらった信号前に到着。この交差点を 500m 位下った先に滝沢駅（12 時 8 分）があった。駅前には「2014.1 めざそう市制」の看板があった。個人的には「滝沢村」のままの方が、「滝沢市」より個性的で趣があると思ったのであるが。ただし、国や県からの補助金の水準がアップするのもかも知れないが。ここから二度目のミスをする。12 時 13 分、鉄道下を潜ったことである。5 分位は鉄道に沿って路は続いていた。しかし、その先で双曲線のように道路と鉄道は限りなく離れる感じなので地図を再確認。予想通り誤っていた。山間のため、この近郊からのリカバリーは不可能。駅に戻ることが唯一の近道と判断する。それでジョギングで戻る。鉄道下には 12 時 27 分に戻る。



このトンネルは失敗

ここからの 3 度目のミスをする。今度は鉄道に沿った右側を歩く。しかし、袋小路で前進できず。それで滝沢駅（12 時 36 分）に戻る。駅前で急速しているドライバーの方に

お尋ねして、巢子駅が判明する。結果的には 500m 先の信号まで戻ることになる。30 分位ロスする。12 時 50 分、滝沢小学校があった。この交差点を直進した先に巢子駅 (13 時 8 分)があった。



巢子駅への路



巢子駅

2km に 1 時間要する。駅前は大々としていた。トイレの施設を充実していた。ドアは 2 重であった。13 時 37 分、新幹線や在来線を横切る複雑な「葉の木沢踏切」を横切る。この踏切は在来線の上り用で、下りの在来線や新幹線は道路下を走っていた。踏切を渡ると、鍋屋や盛岡大学附属高校野球場入口の看板があった。ここから、1km 位続く遊歩道があった。14 時 5 分、小雨となる。丁度 4 号線に合流する地点であった。14 時 19 分、茨嶋神社前を通過。14 時 25 分、厨川 (くりやかわ) 駅到着。



葉の木沢踏切



厨川駅

ここで営業キロ 6,500km 地点を通過。厨という地名は、大河ドラマ「炎立つ (ほむら たつ)」で登場した地名であったので感無量となる。14 時 30 分、岩手県北バス本社前を通過。近くに盛岡厨川郵便局があった。15 時 5 分、青山駅に到着。暫くは鉄道の右側を歩く。高層ビルを見て、15 時 40 分、鉄道に沿った路に進路変更する。鉄道の左側を歩く。16 時 8 分、盛岡駅に到着する。もう少し、早く到着すると思ったが、いい時間帯に到着できる。まさか 6 泊 7 日で、青森＝盛岡までの 203.9km が踏破できるとは思っていなかったが、できた。夢のようだ。今回の歩きは、今後の人生を歩む上で大きな自信となっ

た。「カッシーこだわり四天王」とともに私の大きな財産になるであろう。



18時7分（はやて36号）までの待ち時間を利用して、盛岡ステーションビルでお土産（みそせんべい）を購入する。そしてパン屋で遅い昼食摂る。ここで、IGRいわて銀河鉄道に「青森＝盛岡間の踏破のニュース」を流すが、感動を覚えるようなコメントはなし。「がんばろう！日本」を旗印のイメージとは逆であったので驚いた。国民一人一人が意識改革すべきと思うのであるが。台風が来ているので、少し早めることができるか否か、駅員さんに尋ねるが、「難しい」との回答を得る。



待合室で、大田原出身の和田さんという方と雑談する。この人は乗り鉄で故郷の秋田県を乗ったとのことであった。新幹線の中でも、小山駅近郊で停電（大宮＝小山）のた

め 30 分程度新幹線がストップする。ここでも、待ち時間を利用し、隣の席に座っていた柏市からやって来たという照沼夫妻と雑談をさせてもらう。この夫婦は青森旅行をした帰り道とのことであった。私の「こだわり鉄道つたい歩き」についてお話をさせてもらうと、驚いていた。「凄いですね。頑張ってください」のエールを頂く。大宮までご一緒させて頂く。退屈な待ち時間はあっという間に過ぎ去る。大宮駅からは埼京線で、新宿からは小田急線で自宅へ。台風の影響等で小田急線のダイヤは大乱れ。南林間からはタクシーで自宅へ。タクシーの運転手が東北地方の出身であったので驚いた。「6 泊 7 日で青森＝盛岡 203.9km を歩きました。そして、本州縦断まで盛岡＝仙台 183km と迫りました」と PR すると非常驚いた様子であった。「いいお客を乗せました」と褒め言葉を驚いた。自宅には深夜 0 時 55 分到着。本日の営業キロは 21.3km、万歩計で 50,662 歩であった。

第 9 節 まとめ

今回旅費は約 10.3 万円要する。家内に感謝あるのみ。



新幹線代 27,350 円

(往復乗車券：16,820、大宮＝八戸特急券：5,600 円、盛岡＝大宮：4,930)

在来線 9,030 円

下田＝青森 (1,990 円)、青森＝狩場沢 (890 円×2＝1,780 円)、

上北町＝八戸 (680 円×2＝1,360 円)、下田＝八戸 (320 円)、

八戸＝一戸 (1,160 円×2＝2,320 円)、好摩＝盛岡 (630 円×2＝1,260 円)

宿泊費 (5 泊分：盛岡は無料) 23,858 円

東横イン青森 10,412 円 (2 泊)

東横イン八戸 13,446 円 (3 泊)

懇親会費 18,000 円

青森 6,000 円

八戸 12,000 円

食事代 9,092 円

6 月 13 日 (昼 400 円)、6 月 14 日 (昼 800 円、夜 1,000 円)、

6 月 15 日 (昼 750 円)、6 月 16 日 (650 円、夜 1,400 円)、

6 月 17 日 (昼 360 円、夜 1,550 円)、6 月 18 日 (昼 1,000 円、夜 630 円)

6 月 19 日 (昼 552 円)

その他 15,580 円

お土産代 4,000 円

デジカメチップ 1,580 円

コンビニ代その他 10,000 円

今回の 6 泊 7 日の旅をして感じたことは、次の通り。

- ① 駅前に全く民家なし→千曳駅
- ② 袋小路の中に駅舎あり→目時駅
- ③ 今回のシリーズでこの 2 駅未踏破→野内駅・矢田前駅
- ④ 路の迷う→巢子駅
- ⑤ 反対方向に進む→上北町駅
- ⑥ 「こだわり鉄道つたい歩き」のロスト→一戸駅～二戸駅
- ⑦ 手こずる→三戸駅、三沢駅への路
- ⑧ 走る→苫米地＝八戸、向山＝下田、乙供＝上北町、滝沢駅への戻り
- ⑨ 天気にも恵まれ、6 泊 7 日の日程で青森＝盛岡 203.9km の踏破達成なる
- ⑩ 自分の足腰の強さに驚く
- ⑪ 旧交を温めることができる (野々口氏、大沼氏)
- ⑫ 携帯に電話あり (鴨井、大塚、富野)

電話かける 小林、岩田、植村、宇賀神

⑬ 親切にしてもらう

盛岡東横インへの案内、小柳、三戸

⑭ 日本の広さを感じる

⑮ JR と銀河鉄道連携悪し

⑯ 名刺交換 2 名

⑰ 東北地方の鉄道に魅力感じる (八戸線等)

⑱ 名山を肉眼で見る (八甲田山、姫神山、岩手山)

⑲ 営業キロ更新

一戸＝八戸 43.4km、一戸＝好摩 43.2km